

- ①本大会は日本ラグビーフットボール協会競技規則に則って行われるが、以下に示すようにローカルルールを適用し実施する。
- ②12チームで予選トーナメントおよび順位トーナメント決定方式にて行う。
- ③大会登録選手高校1年生とし、**登録選手は何名でも交替を認める。(出場機会の獲得とケガ防止のため)**
交替用紙の提出してスムーズな入替を各自行うこと。※背番号の重複も認める。
ケガ・負傷などにより1年生だけではチームが編成できない場合、事務局及び対戦相手チームの了承の上で、登録メンバー外からバックアップメンバー(2年生)の出場を許可する。また、他校よりの貸出選手(応援選手)を入れての編成も許可する。
- ④試合時間は予選トーナメントは**前半20分-ハーフタイム5分-後半20分**、
順位決定トーナメントは**前半25分-ハーフタイム5分-後半25分**にて行う。
全ての試合でランニングタイムを適用する。(試合中の怪我人の対応時に関しては、レフリーの判断を仰ぐ場合がある。)
また、状況によってはウォーターブレイクをレフリー判断で行う。(その際は時計は止める)
試合前、ドレステックにつきまして最初の試合のみ行い、以降は用具変更などある場合は各自にて申告すること。
- ⑤順位決定トーナメントの決定にあたり、予選トーナメントの結果にて
同順位の3チームで以下の順序で上位、下位トーナメントへの進出を決定する。
1.予選トーナメントでの総得失点差 2.予選トーナメントでの総得点 3.総トライ数 4.総ペナルティトライ数 5.抽選
※順位決定トーナメント
・1位~4位決定トーナメント(各プール1位と2位グループの1位の4チーム)
・5位~8位決定トーナメント(2位グループの2、3位と3位グループの1位、2位の4チーム)
・9位~12位決定トーナメント(3位グループの3位と各プールの4位の4チーム)
順位トーナメントの組み合わせについては予選トーナメント終了後、抽選にて行う。
- ⑥予選トーナメント、順位トーナメントにおいて同点の場合、以下の順序で勝者を決定する。
1.トライ数 2.ペナルティトライ数 3.トライ後のゴール数 4.ファーストトライ 5.ファーストポイント 6.抽選
- ⑦試合中に競技場内にいる監督・コーチ・スタッフ・選手はチームベンチに位置しなければならない。
無線機の使用を認めるが、ウォーター係は使用することはできず、ビブスを着用したメディカルスタッフ
(ドクターおよびセーフティアシスタント)がプレーの指示をしてはならない。
リザーブの選手のウォームアップについてはこれを認める。
- ⑧一度退いたプレーヤーも特例として負傷したプレーヤーと交替で、その試合に再び加わることができる。
- ⑨**スクラムにおいてレフリー及び各チーム監督判断のうえ、ノーコンテストも対応できる。**
- ⑩ヘッドギア、マウスガードの着用は必須とする。
- ⑪イエローカード / シンビンの**一時的退出時間は予選(20分ハーフ)は5分間、トーナメント(25分ハーフ)6分間**とする。
◆同一試合で同一選手が2回目の一時的退出を宣告された場合、その選手は退場とし、最低限次の1試合の出場は認めない。
◆本大会中に同一選手が3回目の一時的退出の宣告をされた場合、その選手はその場では退場とならないが、最低限次の1試合は出場停止とし、大会事務局及び各チーム監督話し合いのうえ、その後の処分を決定する。
- ⑫レッドカード / 退場者については最低限次の1試合を出場停止とし、チームに警告。
大会事務局及び各チーム監督話し合いのうえその後の処分を決定する。
イエローカード、レッドカードともにその後の他大会への累積はしない。
- ⑬試合中の怪我に関してはドクターを大会本部に配置し応急処置や救急車の手配等の対応はするが、それ以外は各チーム負担とする。
- ⑭不戦敗について / 試合開始時にグラウンドで試合の準備ができていないチームがあった場合は、いかなる理由においても不戦敗とする。
- ⑮ウォーター係は各チームで用意し3名までとする。(ビブス着用)
(※④~⑮はROOKIES CUPのみ採用)